



コール フローレス
(川上町)
代表 新井晴美さん(68)

♪からす なぜ鳴くの

美しい歌声が響いてきます。川上町のコーラスグループ「コール フローレス」の皆さんです。

三村真利子さん(松原通)の指導で、第2・4火曜日、午後8時から9時まで川上総合学習センターで練習を行っています。

メンバーは30代から60代の女性14人。「童謡まつりイン高梁」に向けて、今は毎週の練習で曲の仕上げに入っています。

和気あいあいと、でも熱心に練習に励む皆さん。代表の新井さんは「ここに来れば仲間に見えるし、声を出すこともストレス発散になっていきます。何よりもみんな歌うことが好きなんです」と話されます。

「仲間と歌う安心感から、舞台上に立つても不思議と緊張することはないんですよ。お客さんにいいものを聞いてほしいという気持ちの方が強く

響きあうハーモニー



※「童謡まつりイン高梁」は7月8日(土)、高梁文化会館で開催されます。(10ページに関連記事)

なります」と宮本真理子さん(43)。毎年7月には、かわかみ療護園への慰問も行っています。歌の披露の後には、利用者の皆さんからのリクエスト曲と一緒に歌って楽しいひと時を過ごします。

コーラスにかける思いは熱く、舞台衣装、曲に合わせた振り付けや小道具など、メンバーからは次々とアイデアが出てくるとか。歌う人も聞く人も「一緒に楽しもう」という皆さんの思いを感じます。

童謡まつりでは3曲を披露。「七つの子」はアカペラに挑戦です。「会場の皆さんにじっくりと聞いてほしい。自分たちの一生懸命さが伝われば嬉しいですね」と語る川上美知世さん(60)。

ぜひ会場で、「コール フローレス」の歌声に耳を傾けてみてください。



高倉切り絵クラブ
(高倉町)
代表 鈴井 勉さん(67)

高倉地域市民センターの館内を飾るさまざまな切り絵。「高倉切り絵クラブ」の皆さんの作品です。

「平均年齢が高いのがクラブの自慢」と声をそろえる皆さん。97歳の西本ヒデコさんをはじめ、平均年齢71歳の会員9人で活動しています。

ミニデイサービスの行事の一つとして行われた切り絵講座がきっかけで、興味を持った人たちが集まり、平成14年5月、クラブの活動が始まりました。毎月第4木曜日、午前9時から12時まで同センターで活動しています。

黒い用紙に作りたい原画を重ね、カッターナイフで切り抜き、切り抜いた部分に色紙や色和紙で色を入れ、作品を仕上げます。

最初は2枚重ねの厚くなった紙を切るのに指も痛くなり、色選びも手本どおりにしかできず苦労したそう。それでも枚数を重ねるうちに慣れて魅力にはまり、今では家でも意

切り絵の世界に魅せられて



※「高倉切り絵クラブ」の作品は6月15日から7月14日まで、備中高梁駅東西連絡道ふれあい掲示板で展示されます。

欲的に作品づくりに取り組んでいきます。中山町子さん(74)は「自分なりの生きがいで続けています。手先や色洗めで頭を使うので、健康のためにもいいんですよ。みんなと一緒にできることが何よりです」と楽しそうに話されます。

「最初は続けられるか不安でしたが、今では風景や花などいろいろなものを見て、切り絵にできないかとすぐに考えてしまいます」と話す光畑嘉子さん(70)は、昨年の暑中見舞いのはがきを自作のひまわりの切り絵で送りました。

代表の鈴井さんは「何か夢中になれることがあることはいいこと。みんなで刺激し合って、できる限り続けていきたい。機会があれば作品もどんどん発表してみたい」と抱負を語ってくれました。



まっています!学びたいあなた

「平成18年度のびのびキャンパス岡山」受講生募集

県民の学習の機会を提供するため、岡山県の特性を生かした講座を県内各地で開催しています。
 この中で吉備国際大学は「大学院コース・生活と福祉」(講座名:カラダとお金の危機管理)を開設します。
 会場:吉備国際大学14号館3階 14301講義室ほか
 受講資格:原則として、県内に在住または勤務し、学習意欲のある人
 定員:20人
 受講料:2000円(講座初日に徴収します)
 申込方法:吉備国際大学「生涯学習大学係」☎9454までご連絡ください。(平日9時~17時)

月	日	演 題 ・ 講 師	
		午前(9:30~11:30)	午後(12:30~14:30)
8	29(火)	脳卒中のはなし 副学長 教授 古田知久	文化財の修復から学ぶ 社会学部 教授 大原秀之・下山進・馬場秀雄
	30(水)	認知症の病態と対策について 保健科学部 教授 佐藤三矢	転ばぬ先の杖~成年後見制度の活用~ 社会福祉学部 田中和吉
	31(木)	現代におけるスポーツビジネス最前線 社会学部 教授 清水正典	高梁市民の生活満足感 政策マネジメント学部 講師 宮川雅充
9	1(金)	アルツハイマー病の予防と治療 保健科学部 教授 加納良男	(実習)一緒に作業することの意味 保健科学部 講師 難波悦子
	12(火)	心の健康 社会学部 教授 高橋正己	身近な危機管理の話し 政策マネジメント学部 教授 青江俊夫
	13(水)	自立した活力ある生活をおくるためには 健康科学部 講師 斉藤圭介	スポーツを生活の一部に!! 社会学部 講師 高藤順
	14(木)	疫学のすすめ~集団のとらえ方~ 保健科学部 教授 尾瀬裕	(実習)シルバーエイジにおける“こころ”の健康 社会福祉学部 教授 杉原俊二
	15(金)	健康食品など民間療法は救世主か? 保健科学部 教授 坪井修平	医療費1兆円越える糖尿病~怖くもあり、怖くもなし~ 保健科学部 教授 坪井修平

編集後記

5月21日に県の操法訓練大会が行われ選手として出場しました。操法の訓練を通じて、人とのつながりの大切さを感じるとともに、消防団員としての誇りを持つことができました。このように感じられるのも、喜び・苦しさを共感しあえた仲間、指導してくださった先輩団員や消防関係者の方々、家族・地域・職場の人たちの協力や励ましがあったからだと感謝しています。地域のために活動を行っている消防団でありなが

ら、地域や多くの人たちに支えられている消防団であることに気付かされ、今回の経験は私にとって大きな財産になりました。
 今月号でお知らせしましたが、これからの季節は災害が起こりやすくなります。消防団が活動するような災害がないことが一番ですが、万一に備えて、一人ひとりが防災に対する認識を再確認しましょう。
 (T・K)

花に囲まれ

幸せいっぱい



亀石辰巳さん(79)
 恵美子さん(78)
 川上町仁賀

家の周り約5坪には、サクラ、ヤエザクラ、シダレザクラ、ハナモモ、サツキ、ユキヤナギ、コデマリ、オデマリ、アジサイなど他にもたくさんのお花が咲きます。自生のもの、趣味で育

お話し 聞かせて

てているもの、どちらも大切な宝物。特に毎年4月下旬から5月上旬には、色とりどりの花が一面に咲いてとてもきれいです。今の時期はササユリ(※)が見ごろで、遠方からもよく見に来られますよ。
 時間をみつけては草刈りや挿し木など草花の世話をすることが生きたい。家族みんな花が大好きなので、会話も弾み、楽しく過ごしています。作った野菜を娘などに送ることも楽しみの一つです。
 これからもみんな花に囲まれて、体も心も元気いっぱいでしたいですね。

※ササユリの写真はP20ミニ☆トピックスに掲載しています。